

Be Proactive!

はじめまして!



13日(月)新入生歓迎会にて

このたび、4月1日に田中茂和前校長の後任として、墨田区立寺島中学校第21代校長に就任いたしました川中子登志雄です。どうぞよろしくお願いいたします。

【新校長川中子登志雄プロフィール】

足立区・西新井大師の近くで生まれる。平成2年より足立区、台東区、ドイツで4校の中学校にて21年間英語科教員を務める。その後、台東区立小学校2校で副校長、平成30年度より8年間、墨田区立第三吾嬬小学校校長。趣味は、音楽、ゴルフ、ドライブ、写真。昨年初孫を授かった、現在62歳。

これまで15年間小学校での勤務ではありましたが、寺島中学校とは小中連携のグループが同じだったこともあり、また、地域の寺中地区青少年育成委員会の皆さんにご支援をいただいていたことから、以前からよく存じ上げている中学校への復帰となりました。これまでお世話になった地域や保護者の皆様もたくさんいらっしゃいますが、初心に戻って、寺島中学校での職務に全力を尽くしてまいります。

現在、生徒たちや教職員の様子を見て、これから寺島中学校をどのような学校にしていくか慎重に考えているところです。経営方針や経営計画については、追ってお示しさせていただきますが、私が大切にしていることを何回かに分けて、お伝えさせていただきます。

その1 “Be proactive!” (「主体的であれ」)

私たちがこれまで経験したことのない、変化の激しい社会や環境の中で生きていく今の生徒たちは、多様な他者と協力し、自らの力で幸せを獲得することができる力を身につけることが求められています。解決困難な課題に立ち向かっていくためには、「自分ってけっこう良い」「自分が好き」という感覚＝自己肯定感が欠かせません。この自己肯定感を育むには、一人一人が当事者意識をもち、自分で選択・決定したことに責任をもって取り組む経験が必要です。人に言われてするのではなく、自分自身が「やりたい!」もしくは、その必要性を自覚して行動する姿勢のことを「主体性」と言います。

これまで学校は長い間、教師が「主語」になる教育を行ってきました。日本の公教育は優秀な教員の献身的な努力に支えられ、世界でも最も成功していると言われていますが、それでも年々課題は累積する一方です。特に、何らかの事情で学校に通えない、または通う必要性を見いだせずにいる子供たち(不登校児童・生徒)は、昨年度35万人を超え、昨年1年の間に自殺した児童・生徒は538人と、どちらも過去最多を記録しています。

このような深刻な状況の中、文部科学省では、令和の時代の学校を、子供たちが「主語」になる学校に変革することを提言しています。生徒自身が、自分たちは何を、どのように、どれくらい学びたいのかを考え、



仲間と協働して主体的に学習する。教師の役割は教え導くことから、生徒に明確な目標をもたせたり、学び方を指導したりすること、そして生徒の学びを見取り、評価することなど、生徒の学びを支える「伴走者」としての役割が求められています。(中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm)

私は、本校を生徒が主体となる学校にするために、生徒との対話を増やし、生徒と話し合いながら、生徒が「主語」になる学校作りを目指します。そのために、学校教育活動のあらゆる場面を通して、生徒の主体性を引き出すことに尽力してまいります。(つづく)

令和8年度転入教職員紹介

川中子登志雄 校長(英語) 墨田区立第三吾嬬小学校より

K.K. 主任教諭(社会) 足立区立谷中中学校より

E.M. 主任教諭(数学) 墨田区立墨田中学校より

K.A. 教諭(美術) 品川区立浜川中学校より

S.S. 教諭(英語) 品川区立富士見台中学校より

S.Y. 教諭(数学) 新規採用

N.S. 教諭(保健体育) 新規採用

A.R. 教諭(音楽) M.A.主任教諭の産休・育業代替

M.M. 教諭(家庭) K.R.教諭の育業代替

E.M. 教諭(英語) S.A.主任教諭の育業代替

W.Y. 介助員 墨田区立第四吾嬬小学校より



ホームページ リニューアル計画

現在、寺島中学校の公式ホームページを一新する作業に入っております。学校の様子、生徒の活動の様子をこれまで以上にお届けします。特に、動画による情報発信を充実させたいと思います。乞うご期待!

また、校長が日々感じたこと、考えていることをつれづれなるままに綴っているブログも紹介します。あわせてお楽しみください。

「[optie-nagoptie](https://ameblo.jp/optie-nagoptie/)のブログ」

<https://ameblo.jp/optie-nagoptie/>

「校長室エッセイ・チャレンジ」 “Principal K's Recitation Trial”

校長室から、生徒たちへ課題を出します。「エッセイ・チャレンジ」は自分の考えを文章で表現する取組です。「レシテーション」は、英語の詩やスピーチなどを覚えて校長室で発表してもらいます。

どちらも挑戦した生徒には賞状を授与します。待ってます!



【編集後記】遅くなりましたが、令和8年度寺中だより第1号をお届けします。前任校までは、学校便りは教職員が組織的に編集を行っていましたが、本校では、校長が単独で行うことになっているそうです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(K)